



令和七年三月三日(月) 日本倶楽部新会館開館

令和7年3月3日、新会館開館セレモニーが日比谷国際ビル14階ロビーで開催され、50名を超える会員が参加しました。

開会の挨拶で小村武会長は、新会館は専門家の指導のもと整備され、倶楽部活動が円滑に行える環境が整っていることも強調されました。続いて設計についてご指導いただいた大西氏が、旧会館のステ

ンドグラスや会員の伴紀子さん提案の壁紙を取り入れた設計について説明。三菱地所㈱の吉村部長も関係者への感謝を述べました。

式典後は館内見学が行われ、参加者は新施設の明るく開放的な雰囲気期待を寄せました。

(石川通敬集会委員長)



左より井嶋一友前会長、建築家大西英輔氏、小村武会長、三菱地所㈱吉村友宏部長、嶋津昭副会長

～ 開館セレモニー 小村武会長あいさつ ～

おはようございます。

今日からこの日比谷国際ビルでの倶楽部活動が開始されます。

丸の内からも近く、便利なこの地日比谷に移転先が見つかり、その上、倶楽部活動がこれまで通り、つつがなく実施できるようにと種々配慮された立派な施設が出来上がりました。

正面の壁紙は会員の伴紀子さんの会社の製品で日本倶楽部らしい歴史の重みと品格を備えたものです。伴さんが直々に指導され、思いを込められた秀品です。その中に百年前の我が倶楽部のオブジェが飾られています。

レイアウト、壁紙、絨毯、照明等隅々まで大西先生のご指導をいただきました。大西先生の色彩感覚と研ぎ澄まされた洞察力のたまものです。

例えば、会議室への入口には既存の防火壁があり、入口は1メートルちょっとの幅しかありませんでした。大西先生からはこれでは講演会で大勢の人が出入りするのにセキュリティー上支障が生じる、是非入口の幅を広げるようにとの厳しい指導がありました。おかげでご覧の通り、入口が広くなり、廊下も立派にな

りました。我々素人は図面を見ただけでは全然気が付かないところです。

伴さん、大西先生ご指導ありがとうございました。

その分三菱地所には大変ご負担をおかけしましたが、それでも快く引き受けてくださいました。ありがとうございました。

なお、食堂がなくなりましたが、ソフト面でのサービスを充実いたします。

またパーティー会場等必要な時に8階の会議室を三菱地所が提供してくれます。

さあ、設備、環境は整いました。

折角丹精込めて出来上がった施設です。皆様大いに活用してください。

最後に、ここに至るまで粉骨細心で準備に当たってくれた藤本会館建替推進委員会委員長が会議中病に倒れ本日の開所式に出席できないのが残念です。事務局にこの模様を撮影してもらい、病床の彼に送ってもらうことにしております。

皆様の今日に至るまでのご協力ありがとうございました。